

豊岡市多文化共生推進プランに基づく取組状況 ～2023年度事業実績及び2024年度事業計画～ 【様式1】

長期目標	多様な人々が地域や職場の一員として活躍している
戦略目的	暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている

主要手段01	外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている【コミュニケーション支援】
--------	---------------------------------------

○：計画どおり実施
△：一部実施
×：実施していない

具体的手段01-01 行政情報・生活情報が伝わっている

事業	内容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況/方向性	2024年度事業計画	推進主体
市役所書類の多言語化(やさしい日本語含む)	行政情報や各種申請書等の多言語化を進める。	・転入・転居・転出者へのお知らせ作成(やさしい日本語)、配付 ・「お父さんとお母さんの両方が外国人の方へ」のチラシ(やさしい日本語)作成、配付	・転入・転居・転出者へのお知らせ(やさしい日本語)配付(継続) ・「お父さんとお母さんの両方が外国人の方へ」のチラシ(やさしい日本語)配付(継続) ・多文化交流サロンのチラシ作成(7言語)	・転入・転居・転出者へのお知らせ(やさしい日本語)配付(継続) ・「お父さんとお母さんの両方が外国人の方へ」のチラシ(やさしい日本語)配付(継続) ・多文化交流サロンのチラシ作成(7言語)(継続) ・ 庁内からの依頼等により、申請書類や外国人市民への通知文書等を必要に応じて母国語に翻訳する。【翻訳:7件】	○ 継続	・庁内からの依頼等により、申請書類や外国人市民への通知文書等を必要に応じて母国語に翻訳する。	各担当課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
大使館・領事館等の翻訳資料の活用	国・県等が作成した翻訳資料等を活用する。	・外国人生活支援ポータルサイト(入管庁)、がいこくごのニュースと防災情報(NHK)等を市HPに掲載	・外国人生活支援ポータルサイト(入管庁)、がいこくごのニュースと防災情報(NHK)等を市HPに掲載(継続)	・外国人生活支援ポータルサイト(入管庁)、がいこくごのニュースと防災情報(NHK)等を市HPに掲載(継続)	○ 継続	・外国人生活支援ポータルサイト(入管庁)、がいこくごのニュースと防災情報(NHK)等を市HPに掲載(継続)	各担当課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
リビングガイド・防災ハンドブックの内容充実、簡易版作成	豊岡市で暮らす上で役立つ生活情報を掲載した「リビングガイド(7言語)」、災害から身を守るために必要な情報を記載した「防災ハンドブック(英語・日本語)」等を作成する。	・ごみの処理方法、子育て、病院、納税手続きなどを記載した「リビングガイド(改訂版)」を7言語で作成、配付 ・防災ハンドブック簡易版作成、配付	・ごみの処理方法、子育て、病院、納税手続きなどを記載した「リビングガイド(改訂版)」を7言語で作成し、転入時等に配布 ・防災ハンドブックと簡易版を転入時等に配布	・改訂版を作成し、転入者等に配布 ・ 外国人相談窓口で説明するため、二次元コードを添付した簡易版のチラシ「豊岡市民になるあなたへ」を作成、配布	○ 拡充	・随時改訂し、転入者等に配布 ・外国人相談窓口で説明するため、二次元コードを添付した簡易版のチラシ「豊岡市民になるあなたへ」を配布 ・ インドネシア語、ネパール語等の翻訳を検討	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
市役所の多言語案内表示	市役所内に多言語表記の看板を設置する。	・本庁舎1階フロアに英語併記の案内表示を作成	・本庁舎1階フロアに英語併記の案内表示設置(継続)	・本庁舎1階フロアに英語併記の案内表示設置(継続) ・ 外国人相談窓口の案内表示(7言語)の作成	○ 継続	・本庁舎1階フロアに英語併記の案内表示設置(継続) ・外国人相談窓口の案内表示の設置	各担当課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
やさしい日本語による広報(ごみの分別、各種手続等)	外国人市民に向けて、やさしい日本語での広報を行う。	・市HPの「外国人の皆さんへ」のページをやさしい日本語で作成	・市HPの「外国人の皆さんへ」のページをやさしい日本語で作成(継続)	・市HPの「外国人の皆さんへ」のページをやさしい日本語で作成(継続)	○ 継続	・やさしい日本語も含め、外国人市民に伝える方法を検討する。	秘書広報課 生活環境課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
やさしい日本語教室の開催(市職員、市民対象)	職員向け、市民向けにやさしい日本語講座を実施する。	・市職員対象の「やさしい日本語講座」を開催(1回、17人受講)	・市職員対象の「やさしい日本語講座」【参加者】19人 ・市民対象の「災害時のやさしい日本語講座」【参加者】20人	・ 市職員対象の「やさしい日本語講座」(9月8日実施) 【参加者】25人、外国人ゲスト3人 ※翻訳機の使い方も学ぶ。 ※外国人市民にも参加してもらい、伝わっているか確認する。	○ 継続	・市職員対象の「やさしい日本語講座」 ※翻訳機の使い方も学ぶ。 ※外国人市民にも参加してもらい、伝わっているか確認する。	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
多言語映像通訳サービス、多言語音声翻訳アプリの周知	タブレット端末を利用したテレビ通訳と多言語音声翻訳アプリを設置、周知し、市役所職員と外国人の方の通訳を行う。	・テレビ通訳11件、音声翻訳62件 市民課・振興局・健康増進課・保育園等で利用)	・テレビ通訳10件、音声翻訳18件 市民課・振興局・健康増進課・社会福祉課等で利用	・テレビ通訳を外国人相談窓口に、音声翻訳アプリを窓口サービス課(市民課)、振興局、こども未来課、社会福祉課等に設置し、ホームページ等で周知した。 (テレビ通訳11件、音声翻訳29件) ・振興局、立野庁舎等に来庁した外国人市民の通訳等をZoomで実施可能(実績なし)	○ 継続	・テレビ通訳を外国人相談窓口に、音声翻訳アプリを窓口サービス課(市民課)、振興局、こども未来課、社会福祉課等に設置し、ホームページ等で周知する。 ・振興局、立野庁舎等に来庁した外国人市民の通訳等をZoomで実施	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
市の事業への通訳派遣	外国人市民が行政手続きや健診等で通訳を必要とする場合に、通訳ボランティアを派遣する。 多文化共生推進員、多言語相談員を健診等へ派遣する。	・外国語通訳ボランティア派遣事業を開始した。(派遣依頼3件、実績なし)	・外国語通訳ボランティア派遣事業(実績なし)	・多文化共生推進員、多言語相談員の通訳派遣を実施 (乳幼児健診等12件、タガログ語・英語) ・外国語通訳ボランティア派遣事業(協力機関通訳)を庁内で周知する。(病院受診1件、タガログ語)	○ 継続	・多文化共生推進員、多言語相談員の通訳派遣を実施 ・外国語通訳ボランティア派遣事業(協力機関通訳)を庁内で周知する。	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
外国人雇用事業所との連携(市役所内)	外国人市民へ行政情報等の提供を行うため、外国人雇用事業所と市役所が連携する。	・未実施	・多文化交流サロンのチラシを送付	・外国人相談窓口、多文化交流サロンのチラシを送付 ・転入手続き等に来られた事業者(通訳者)と外国人相談窓口が連携した。 ・県主催の多文化共生ネットワーク会議の開催(但馬地域、3月15日)	○ 継続	・外国人相談窓口、多文化交流サロンのチラシを送付 ・転入手続き等に来られた事業者(通訳者)と外国人相談窓口、振興局窓口等が連携する。	各担当課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
生活情報のネット・SNS配信	インターネットやSNS等で生活情報等を発信する。	・FMジャングルでの英語放送(イベント、コロナ関連情報等、月2回)	・FMジャングルでの英語放送(イベント、コロナ関連情報等、月2回) ・各支援団体がFB等で情報発信	・FMジャングルでの英語放送「Toyooka Local Information」(イベント、市政情報等、月2回) ・FMジャングルの放送原稿を市ホームページに掲載(6月から開始) ・各支援団体がFB等で情報発信	△ 継続	・FMジャングルでの英語放送「Toyooka Local Information」(イベント、市政情報等、月2回) ・FMジャングルの放送原稿を市ホームページに掲載 ・各支援団体がFB等で情報発信	支援団体 秘書広報課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
多言語対応できる飲食店等のステッカー作成	外国人市民が入りやすいように多言語対応できる飲食店等のステッカーを作成する。	・未実施	・未実施	・実施に向けて検討	× 継続	・実施に向けて検討	支援団体 地域 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課

具体的手段01-02 外国人市民の相談をワンストップで受ける体制がとれている

事業	内容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
ワンストップ相談窓口の設置検討	現在の相談窓口を拡充し、外国人受入環境整備交付金を活用して、ワンストップ相談窓口の設置を検討する。	・市外国人生活相談窓口設置(相談件数3件) ・日本語教室受講者の生活相談受付支援(相談件数215件) ・新型コロナウイルス感染症に係る外国人相談窓口の設置(委託、相談件数112件)	・市外国人相談窓口(相談件数18件) ・日本語教室受講者の生活相談受付(相談件数181件) ・多文化交流サロンでの生活相談受付 ・「外国人受入環境整備交付金(出入国在留管理庁)」の活用検討(尼崎市、小山市視察)	・市外国人相談窓口の拡充(相談件数270件) 【国籍】フィリピン、ベトナム、ネパール、ブラジル等18か国 【内容】転入者への情報提供、市役所手続きのサポート、乳幼児健診等での通訳等 ・日本語教室、多文化交流サロンでの生活相談受付(相談件数229件)	△ 継続	・市外国人相談窓口の設置(継続) ・外国人受入環境整備交付金活用の検討 ・日本語教室、多文化交流サロンでの生活相談受付(継続)	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体
通訳者、相談員等人材の発掘と育成	外国語通訳ボランティアやワンストップ相談窓口の相談員等を確保するため、人材の発掘と育成を行う。	・外国語通訳ボランティアの把握	・外国語通訳ボランティアの把握	・相談窓口拡充のため、新たに多言語相談員を雇用(週3日、タガログ語) ・通訳者・相談員研修(12月15日実施) 【参加者】14人 ・外国語通訳ボランティアの把握(継続)	○ 拡充	・多言語相談員を雇用(週3日、タガログ語) ・外国語通訳ボランティアの把握(継続) ・通訳者・相談員研修 ・事例共有会、相談会(税金、就学前等)の開催	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体
転入(出)時にワンストップですべての手続きを済ませることができる体制の検討(庁内連携)	窓口サービス課(市民課)等と連携し、転入等で来庁した外国人市民を把握し、必要な手続きを行えるようにする。	・未実施	・実施に向けて検討	・転入等手続きで外国人市民が来庁されたら、窓口サービス課から外国人相談窓口につながり、相談員等が出向く仕組みを構築 ・子どもがいる場合は、こども未来課、学校教育課、幼児育成課等へつないだ。 ・振興局、立野庁舎等に来庁した外国人市民の通訳等をZoomで実施可能(実績なし)	○ 継続	・転入等手続きで外国人市民が来庁されたら、窓口サービス課から外国人相談窓口につながり、相談員等が出向く仕組みを継続 ・子どもがいる場合は、こども未来課、学校教育課、幼児育成課等へつなく。 ・振興局、立野庁舎等に来庁した外国人市民の通訳等をZoomで実施	窓口サービス課 各振興局 各担当課
生活オリエンテーションの実施検討	ゴミの出し方、税金、健康保険、防災、交通安全、教育、日本語教室など、豊岡市で生活するために必要な情報の提供を検討する。	・支援団体で実施	・多文化交流サロンで生活オリエンテーションの実施	・転入者等に「豊岡市民になるあなたへ」を配付(時間があれば、リビングガイド等の説明) ・市民の特典(飛行機助成、温泉割引など)を転入時のチラシに記載 ・多文化交流サロンで生活オリエンテーションの実施(継続)	○ 継続	・転入者等に「豊岡市民になるあなたへ」を配付(時間があれば、リビングガイド等の説明) ・市民の特典(飛行機助成、温泉割引など)を転入時のチラシに記載 ・多文化交流サロンで生活オリエンテーションの実施(継続)	支援団体 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 企業

具体的手段01-03 日本語を学ぶ機会が増えている

事業	内容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
日本語学習機会の充実	外国人市民の日本語学習機会を充実させる。	・日本語教室の開催支援(898回、延べ1,226人受講) ・がんばる母親教室の開催支援(287回、延べ287人受講)	・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業(文化庁、県)の受託 ・日本語教室、がんばる母親教室の開催支援継続(日本語教室:1,554回、延べ2,647人受講、母親教室:312回、延べ324人受講)	・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業(文化庁、県)の受託(継続) ・日本語教室、がんばる母親教室の開催支援継続(日本語教室:1,676回、延べ2,402人受講、母親教室:231回、延べ351人受講)	○ 拡充	・地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業(文科省、県)の受託(継続) ・日本語教室、がんばる母親教室の開催支援継続 ・転入者等対象の初級日本語教室の実施(委託) 【内容】転入者等にチラシを渡し、年4クール実施する初級日本語教室(4回分無料)に参加を促す。(子どもは個別対応)	支援団体 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
日本語学習ボランティアの育成	外国人市民の日本語学習を支援するボランティアを育成する。	・日本語学習ボランティア(22人) ・研修会等の実施及び参加支援(32回)	・研修会等の実施及び参加支援継続 ・日本語学習ボランティア研修「多文化共生・異文化交流ワークショップ」【参加者】14人 ・多文化共生のためのセミナー(あいうえおと共催)【参加者】35人	・研修会等の実施及び参加支援継続 ・日本語学習ボランティア研修(11月18日実施) 【参加者】27人	○ 継続	・研修会等の実施及び参加支援継続 ・日本語学習ボランティア研修	支援団体 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課

主要手段02	外国人市民が安全・安心に暮らしている【生活支援】
--------	--------------------------

具体的手段02-01 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援が充実している

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
入学説明会等への通訳派遣	小中学校の保護者面談等で県事業により通訳を派遣する。また、市役所の手続きや入学説明会等については市事業の外国語通訳ボランティア等を派遣する。	・多言語相談員の派遣(県事業、中学校4回(中国語3、ポルトガル語1)、保護者面談時) ・外国語通訳ボランティアの派遣(市事業、依頼件数2件、健康相談同行、就学相談、実績なし)	・多言語相談員(県)の派遣 [小学校]対象児童4名→9回(フィリピン語7、ポルトガル語2) [中学校]対象生徒1名→4回(ポルトガル語) ・外国語通訳ボランティア(市)の派遣(実績なし)	・多言語相談員(県)の派遣 [小学校]対象児童1名→2回(ポルトガル語) [中学校]対象生徒1名→5回(ポルトガル語) ・多言語相談員(市)、外国語通訳ボランティア(市)の派遣 ・県、市の事業について小・中学校への周知を徹底する。 ・とよおかこども多文化共生サポーター派遣事業の運用の弾力化を検討する。	○ 継続	・多言語相談員(県)の派遣 ・多言語相談員(市)、外国語通訳ボランティア(市)の派遣 ・県・市の事業について小・中学校への周知を徹底する。 ・とよおかこども多文化共生サポーター派遣事業の運用の弾力化を検討する。	学校教育課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
多文化共生サポーターの充実	入国後1年6ヶ月間、県と市の教育委員会が、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の学校生活への早期適応を促進するため、児童生徒の母語を話することができる多文化共生サポーターを小中学校へ派遣する。	・多文化共生サポーターの派遣 【県事業】 小学校 対象児童 4名(中国語1、ポルトガル語1、フィリピン語2) 中学校 対象生徒 2名(中国語1、ポルトガル語1) 【市事業】 小学校 対象児童 1名(中国語) 中学校 対象生徒 1名(中国語)	・多文化共生サポーターの派遣 [小学校]対象児童5名(ポルトガル語1、フィリピン語2、中国語1、ネパール語1) [中学校]対象生徒5名(ポルトガル語1、フィリピン語3、英語(ドイツ語)1)	・多文化共生サポーター(県、市)の派遣 [小学校]対象児童6名(中国語2、ネパール語1、英語3) [中学校]対象生徒5名(フィリピン語3、中国語2) ・とよおかこども多文化共生サポーター事業の充実と運用の弾力化を検討する。 ・サポーターを確保するために、外国人支援団体との連携を強化する。	○ 継続	・多文化共生サポーター(県、市)の派遣 ・とよおかこども多文化共生サポーター事業の充実と運用の弾力化を検討する。 ・サポーターを確保するために、外国人支援団体との連携を強化する。	学校教育課 各学校
来日後の日本語教育の充実	外国にルーツを持つ子どもたちが来日後に日本語を学べる機会を充実させる。	・外国人支援団体、各学校等で対応	・外国人支援団体、各学校等で対応	・外国人支援団体、各学校等で対応 ・入学手続きをした児童生徒に日本語教室を案内する。 ・文科省「帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細やかな支援事業」の活用等を検討したが、本市の現状で本事業は適さないと判断した。	○ 拡充	・外国人支援団体、各学校等で対応 ・入学手続きをした児童生徒に日本語教室を案内する。 ・転入者等対象の初級日本語教室の実施(委託)	学校教育課 各学校
学校から家庭へのスムーズな情報共有	学校から日本語がわからない家庭への情報伝達をスムーズに行う。	・外国人支援団体、各学校等で対応	・外国人支援団体、各学校等で対応	・外国人支援団体、各学校等での対応 ・とよおかこども多文化共生サポーター派遣事業の運用の弾力化を検討する。	○ 継続	・外国人支援団体、各学校等での対応 ・とよおかこども多文化共生サポーター派遣事業の運用の弾力化を検討する。	学校教育課 各学校

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
母語・継承語(親の母語)教育の実施	母語・継承語(親の母語)教育の実施に向けて検討する。	・未実施	・芸術文化観光専門職大学地域リサーチ&イノベーションセンターとの連携事業実施(委託) [内容]母語・継承語支援の調査研究と実践～外国にルーツを持つ子どもの支援 事前調査と実践「中国語と中国文化を楽しもう!」 【参加者】7回開催、延べ125人	・芸術文化観光専門職大学地域リサーチ&イノベーションセンターとの連携事業実施(委託) 対象を中国に加え、フィリピン、ベトナムルーツに拡大 「親子で学ぶ外国語・外国文化ワークショップ」(5月～10回実施) 【参加者】延べ225人	○ 継続	・芸術文化観光専門職大学地域リサーチ&イノベーションセンターとの連携事業実施(委託)	学校教育課 幼児育成課 支援団体
子どもたちが外国文化や学校文化を知る機会の充実	子どもたちが学校園等で外国文化等を知る機会を充実させる。	・英語遊び保育(4・5歳児)、英語遊び(小1・2年)外国語活動(小3・4年)、外国語科(小5・6年)、外国語(中)	・英語遊び保育(4・5歳児)、英語遊び(小1・2年)外国語活動(小3・4年)、外国語科(小5・6年)、外国語(中)	・英語遊び保育(4・5歳児)、英語遊び(小1・2年)外国語活動(小3・4年)、外国語科(小5・6年)、外国語(中)	○ 継続	・英語遊び保育(4・5歳児)、英語遊び(小1・2年)外国語活動(小3・4年)、外国語科(小5・6年)、外国語(中)	各学校園
就学前、中途入学、進学時等の説明体制強化	就学前、中途入学、進学時等に就学の仕組み等を説明する体制を強化する。	・2021年度外国人児童生徒等にかかわる就学支援ガイダンスの周知(県事業、県内5会場で実施 豊岡での実施なし)	・2022年度外国人児童生徒等にかかわる就学支援ガイダンス実施(県事業、8月20日午後、日高)	・園庭開放の利用 ・県教委作成「外国人児童生徒等のための受入れハンドブック」等を参考に、市教委から学校園、学校園から保護者に丁寧に支援・説明を行う。	○ 継続	・園庭開放の利用 ・県教委作成「外国人児童生徒等のための受入れハンドブック」等を参考に、市教委から学校園、学校園から保護者に丁寧に支援・説明を行う。	学校教育課 幼児育成課 各学校
義務教育以降の若者へのサポート	義務教育以降の若者へのサポートを検討する。	・日本語発表会「先輩の話を聴こう」の実施(支援団体)	・ロールモデル教材「先輩の話を聴こう」の作成(支援団体)	・義務教育以降の若者の把握	○ 継続	・義務教育以降の若者の把握 ・転入者等対象の初級日本語教室の実施(委託)	高校、支援団体

具体的手段02-02 安心して出産、子育てができています

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
外国語の母子手帳交付	日本語が理解できない外国人市民の妊婦に、多言語版の母子健康手帳を交付する。	・外国にルーツのある妊産婦への母子手帳交付(4件)	・妊産婦、転入者に交付(8件) 英語版1、ベトナム語版3、ネパール語版3、タガログ語版1	・外国人や日本語が読めない方には、外国語版母子健康手帳を交付する。(母子手帳を交付した外国人妊婦:8人、転入外国人妊産婦:2人) 英語版2、ベトナム語版4、ネパール語版1、日本語版1(妊婦国籍:フィリピン2、ネパール1、ベトナム4、ジャマイカ1) ・外国人住民のための子育てチャートの活用	○ 継続	・外国人や日本語が読めない方には、外国語版母子健康手帳を交付する ・外国人住民のための子育てチャートの活用	こども未来課
乳幼児健診等での通訳等多言語対応	乳幼児健診等の時に、日本語が理解できない外国人市民に通訳者を派遣したり、翻訳アプリ等で対応する。	・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・外国語通訳ボランティアの派遣(市事業、依頼件数1件、乳幼児訪問、実績なし)	・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・外国語通訳ボランティアの派遣(実績なし)	・日本語版の健診アンケートが読めないかたには、外国語版のアンケートを送付または、事前に保健師が聞き取り当日診察医師につなげる。 ・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・多言語相談員、多文化共生推進員の派遣(乳幼児健診等9件、タガログ語・英語) ・外国語通訳ボランティアの派遣(病院受診1件、タガログ語)	○ 継続	・日本語版の健診アンケートが読めないかたには、外国語版のアンケートを送付または、事前に保健師が聞き取り当日診察医師につなげる。 ・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・多言語相談員、多文化共生推進員の派遣 ・外国語通訳ボランティアの派遣	こども未来課
病院での多言語対応(妊婦健診、出産時、病気の時)	医療機関での多言語対応が進むように働きかける。	・翻訳アプリの入ったタブレットを配置(公立病院) ・三者間通話による通訳導入(公立病院)	・翻訳アプリの入ったタブレットを配置(公立病院) ・三者間通話による通訳導入(公立病院) ・妊婦・産婦健診時の通訳(公立病院は英語の通訳なら調整している様子) ・予防接種の際、病院と市で調整	・医療機関との連携を検討 ・予防接種予診票交付時、豊岡市の予診票と共に、必要に応じて予防接種リサーチセンターHPより入手した多言語版の予診票や冊子を渡す。 ・予防接種を円滑に受けられるよう、必要時、病院と市で調整する。	△ 継続	・医療機関との連携を検討 ・予防接種予診票交付時、豊岡市の予診票と共に、必要に応じて予防接種リサーチセンターHPより入手した多言語版の予診票や冊子を渡す。 ・予防接種を円滑に受けられるよう、必要時、病院と市で調整する。	医療機関
保育園・幼稚園・認定こども園等での多言語対応	外国にルーツのある子ども・保護者と職員がコミュニケーションをとるため、翻訳ツール等を活用する。	・多言語音声翻訳アプリ等の利用(市立園:32回)	・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・保育士・幼稚園教諭、保健師・栄養士等への研修開催(1月20日) 「地域の多様な子どもたちの学び合い～外国ルーツの子どもたちの視点から～」 【参加者】24人	・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・保育士・幼稚園教諭、保健師・栄養士、子育て支援センター職員等への研修開催(12月5日実施) 「外国につながる子どもの現状と支援」 【参加者】15人	○ 継続	・多言語音声翻訳アプリ等の利用 ・保育士・幼稚園教諭、保健師・栄養士、子育て支援センター職員、放課後児童クラブ職員等への研修開催	幼児育成課
外国人向けの日本料理教室開催(子ども用など)	子ども用などの日本料理を教える教室等を開催する。	—	・支援団体で実施(お弁当の作り方など)	・支援団体等で実施	△ 継続	・支援団体等で実施	地域、支援団体
育児中の親子が触れ合う場の提供	子育てセンター等の情報を提供し、事業等に参加してもらう。	・子育てセンター事業に参加(8回)	・子育てセンター事業に参加	・子育てセンター事業等に参加	○ 継続	・子育てセンター事業等に参加	地域 こども未来課

具体的手段02-03 安心して医療・介護サービスを受けている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
消防本部三者間同時通訳サービス、救急多言語翻訳アプリの周知	消防本部に三者間同時通訳、救急多言語翻訳アプリがあることを周知する。	・三者間同時通訳(実績なし) ・救急多言語翻訳アプリ(1件、救急現場対応) ・市HPで周知	・三者間同時通訳(実績なし) ・救急多言語翻訳アプリ(2回) ・消防本部HP等で周知(準備中) ・多文化交流サロンで救急車の呼び方等の出前講座実施	・三者間同時通訳(5回) ・救急多言語翻訳アプリ(13回) ・消防本部HPに119番通報の方法として多言語対応ページを作成。 ・支援団体の要請に基づき、外国人を対象とした研修会等へ協力し、ニーズに対応する。(外国人対応研修実施)	○ 継続	・三者間同時通訳 ・救急多言語翻訳アプリ ・消防本部HP「119番通報の方法」の多言語対応ページについて、容易閲覧等の体裁の向上を図る。 ・支援団体の要請に基づき、外国人を対象とした研修会等へ協力し、ニーズに対応する。	消防本部
医療機関の多言語化の充実	多言語対応について医療機関に働きかけを行う。	・翻訳アプリの入ったタブレットを配置(公立病院) ・三者間通話による通訳導入(公立病院)	・翻訳アプリの入ったタブレットを配置(公立病院) ・三者間通話による通訳導入(公立病院)	・医療機関との連携を検討	△ 継続	・医療機関との連携を検討	医療機関
通院送迎支援検討	車を持っていない外国人市民が通院する際の支援を検討する。	・未実施	・未実施	・実施に向けて検討	× 継続	・実施に向けて検討	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課
外国人高齢者の見守り強化	民生委員等と情報共有しながら、見守りを行う。	・高齢者の見守り(外国人に特化したものではない)	・高齢者の見守り(外国人に特化したものではない)	・実施に向けて検討	× 継続	・実施に向けて検討	地域
多言語で介護支援を受けられる環境づくり	介護支援の現場においてニーズを把握し、多言語対応の環境づくりを行う。	・個別対応	・個別対応	・外国人の障害福祉サービス利用あり。ニーズの把握にまでは至っていない。	× 継続	・実施に向けて検討(ニーズ把握)	社会福祉課 高年介護課

具体的手段02-04 働きやすい環境が整い、働きがいをを感じる人が増えている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
職場での日本語学習支援	職場での日本語学習ができるよう企業に働きかける。	-	-	・実施に向けて検討	× 継続	・実施に向けて検討	企業
事業所支援(日本語教育、住居の紹介等)	事業所と情報共有の場を持ち、必要な支援を検討する。	・外国人漁業実習生コミュニケーション向上支援事業補助金(1件) ・事業所訪問、担当者との打ち合わせ(技能実習生に係る相談2件)	・外国人漁業実習生コミュニケーション向上支援事業補助金(1件) ・事業所に「多文化交流サロン」のチラシを送付	・環境経済課、高年介護課等と連携し、事業所のニーズを把握し、漁業以外の業種への支援を検討する。 ・外国人相談窓口、多文化交流サロンのチラシを送付	△ 継続	・環境経済課、高年介護課等と連携し、事業所のニーズを把握し、漁業以外の業種への支援を検討する。 ・外国人相談窓口、多文化交流サロンのチラシを送付	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 環境経済課 農林水産課 支援団体
ハローワーク等での仕事の相談充実	ハローワーク等と連携し、仕事の相談を充実させる。	・ハローワークで相談受付	・職業安定所とウクライナ避難民支援について情報共有した。	・実施に向けて検討	△ 継続	・実施に向けて検討	ハローワーク
外国人の起業サポート	外国人も起業できるように支援する。	・豊岡市創業支援補助金 ・ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」の開設	国籍を問わない起業相談窓口を開設した ・ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」の開設 ・豊岡市創業支援補助金	国籍を問わない起業相談窓口を開設した ・ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」の開設 ・豊岡市創業支援補助金	△ 継続	・国籍を問わず起業の相談ができるよう窓口を引き続き設置する。	環境経済課
UIターンのサポート	外国人のUIターンも支援する。	・市の移住相談窓口を利用した外国人移住者(3人)	・移住相談窓口「暮らしのパーラー TOYOOKA」の設置 ・市の移住相談窓口を利用した外国人移住者(4人)	・移住相談窓口「暮らしのパーラー TOYOOKA」の設置 ・市の移住相談窓口を利用した外国人移住者(2人)	△ 継続	・国籍を問わず移住の相談ができるよう窓口を設置する。	地域づくり課

具体的手段02-05 移動手段が確保されている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
公共交通機関の乗り換え案内 (多言語化、ICT化)の検討	バス、電車等の乗り方等をわかりやすく するための検討を行う。	・未実施	・未実施	・実施に向けて検討(ニーズ把握)	× 継続	・実施に向けて検討(ニーズ把握)	都市整備課 交通機関

具体的手段02-06 住宅が確保されている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
住まいの支援・情報提供	市営住宅等の住まいの情報提供、入居 支援を行う。	・市営住宅入居支援	・市営住宅入居支援 ・市営住宅入居のしおりの多言語版作 成(英語・やさしい日本語)	・市営住宅入居支援(継続) ・市営住宅入居のしおりの多言語版の活用(英語・ やさしい日本語)	○ 継続	・市営住宅入居支援(継続) ・市営住宅入居のしおりの多言語版の活用(英 語・やさしい日本語)	建築住宅課
外国人シェアハウスの調査研究	外国人シェアハウス等の必要性等を調 査研究する。	・未実施	・未実施	社会人全般(外国人も含む)のシェアハウスへの改 修補助事業を検討したが、予算化には至らなかつ た。	△ 継続	今後、外国人に特化したカタチで検討する。	地域づくり課 企業

具体的手段02-07 災害等への備えができている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
災害時における外国人支援体制 (災害時多言語支援センター等) の検討	「災害時における市内の外国人への情 報伝達に関する覚書」を締結(外国人 支援団体2件)しているが、さらに災害 時多言語支援センター等の体制を検討 する。	・「災害時における市内の外国人への情報 伝達に関する覚書」締結(外国人支援団 体2件) ・ipadの導入(voicebiz,振興局)	・多言語指差しボード作成、避難所用 物品として配付 ・市民対象の「災害時のやさしい日本 語講座」 【参加者】20人 ・ipadの導入(voicebiz, 防災課にも 導入)	・ひょうご防災ネット(アプリ)のダウンロード率を上 げる。転入時に外国人相談窓口でアプリの二次元 コードを記載したチラシを配付、可能であれば窓口 でダウンロード。 ・外国人向け出前講座で参加者にアプリをダウン ロードしてもらう。また、知り合いの外国人にも呼び かけてもらうよう依頼する。	△ 拡充	・ひょうご防災ネット(アプリ)のダウンロード率を上 げる。転入時に外国人相談窓口でアプリの二 次元コードを記載したチラシを配付、可能であれ ば窓口でダウンロード。 ・外国人向け出前講座で参加者にアプリをダウ ンロードしてもらう。また、知り合いの外国人にも 呼びかけてもらうよう依頼する。 ・WEB版防災マップの英語版を作成する。	危機管理課 多様性推進・ ジェンダーギャッ プ対策課
防災知識を学ぶ機会の充実、避 難訓練等への参加促進	外国人市民が防災知識を学ぶ機会を 増やすとともに、地域の防災訓練等へ の参加を促進する。	・防災ワークショップ、出前講座の実施 ・市民総参加訓練の実施	・防災ワークショップ等の開催(waccu toyooka等で開催) ・出前講座の実施 ・市民総参加訓練の実施	・多文化交流サロンで防災ワークショップ実施(2回 開催) ・区・地域コミュニティに外国人の参加呼びかけをお 願いする。 ・外国人向け出前講座実施時に参加人数を拡大す るよう依頼団体へお願いする。	△ 継続	・多文化交流サロンで防災ワークショップ(外国 人向け出前講座)実施 ・区・地域コミュニティに外国人の参加呼びかけ をお願いする。 ・外国人向け出前講座実施時に参加人数を拡大 するよう依頼団体へお願いする。	危機管理課 地域
外国人市民の自主防災組織加 入促進	外国人市民の自主防災組織への加入 を進める。	・未実施	・未実施	・出前講座において、外国人市民が防災の担い手と なりうることを啓発	× 継続	・出前講座において、外国人市民が防災の担い 手となりうることを啓発	危機管理課 地域

主要手段03	外国人市民が地域活動に参加している【意識啓発と地域づくり】
--------	-------------------------------

具体的手段03-01 お互いの文化、生活習慣のちがいを認め合っている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
外国人市民、外国文化・宗教の紹介（市広報・出前講座等）	多様な外国人市民や外国文化等を紹介する。	・市広報「多様な人々と共に生きよう」掲載（9月～4回） ・多文化共生セミナーの開催（支援団体と共催、1回） ・市民ふれあいの集い開催（多様性、多文化共生がテーマの講演会、1回）	・市広報「多様な人々と共に生きよう」掲載（年4回） ・出前講座の実施（1回、高橋振興対策協議会） ・「わくわくまつり2022」に参加	・市広報「多様な人々と共に生きよう」掲載（年4回） ・人権研修会「音楽とお話のつどい」（テーマ：多文化共生、1/27実施） 【参加者】91人	○ 継続	・市広報「多様な人々と共に生きよう」掲載（年4回） ・出前講座の実施	秘書広報課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体
外国人市民が教える外国料理教室の開催	地域で外国人市民が外国料理教室を開催する。	-	-	・「親子で学ぶ外国語・外国文化ワークショップ」で中国、ベトナム、フィリピンの料理教室を実施（各1回）	○ 継続	・専門職大学に委託する母語継承語支援事業等での開催	地域
外国語の図書・絵本が読めるコーナーの整備	図書館等に外国語の図書・絵本が読めるコーナーを整備する。	・図書館、WACCU TOYOOKAの図書コーナー整備	・図書館、WACCU TOYOOKAの外国語の図書コーナーの継続	・図書館、WACCU TOYOOKAの外国語の図書コーナーの継続	○ 継続	・図書館、WACCU TOYOOKAの外国語の図書コーナーの継続	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 図書館 支援団体
外国語のお話会の開催	図書館等で外国語のお話会を開催する。	・未実施	・「わくわくまつり2022」で紙芝居を英語で読み聞かせ ・母語継承語支援事業「中国語と中国文化を楽しもう!」で、中国語で絵本の読み聞かせを実施	未実施	× 継続	予定なし	図書館 支援団体
地域での国際理解教室の開催	地域で外国のことを学ぶ機会を持つ。	-	・多文化共生・国際交流の広場（地域コミュニティ組織） ・英会話教室等の開催（支援団体）	・地域、支援団体等で実施	○ 継続	・地域、支援団体等で実施	地域、支援団体
日本の文化、豊岡の文化を学ぶ機会の創出	外国人市民が日本や豊岡の文化を学んだり、触れたりする機会を持つ。	・支援団体で実施（カルタ、書道、もちつき、着付け等）	・多文化交流サロン、支援団体で実施（七夕、もちつき、着付け、書道等）	・多文化交流サロン、支援団体、地域等で実施（こいのぼり作り、七夕、豊岡踊り、お盆、餅つき、冬の過ごし方等）	○ 継続	・多文化交流サロン、支援団体、地域等で実施	地域 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体

具体的手段03-02 気軽に交流できる居場所や機会が増えている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
waccu toyookaでの交流事業 開催	アイティ4階にある子育て支援等総合 拠点「waccu toyooka」で交流事業 等を実施する。	-	・多文化交流サロン(生活相談、交流 会等)の実施(委託、月2回開催) 【参加者】10か国延べ421人	・多文化交流サロン(生活相談、交流会等)の実施 (委託、月2回開催) 【参加者】12か国延べ375人	○ 継続	・多文化交流サロン(生活オリエンテーション、交 流会等)の実施(委託、月1回開催)	多様性推進・ ジェンダーギャッ プ対策課
インターナショナルフェスティバル 開催	支援団体でインターナショナルフェス ティバル等を開催する。	-	・支援団体で実施	・支援団体で実施	○ 継続	・支援団体で実施	支援団体
芸術文化観光専門職大学と共催イ ベントの検討	芸術文化観光専門職大学との共催イ ベントの実施を検討する。	・未実施	・未実施	・専門職大学国際交流センター等と連携し実施を校 討する。	× 継続	・専門職大学国際交流センター等と連携し実施 を検討する。	大学 多様性推進・ ジェンダーギャッ プ対策課 観光政策課
外国人市民と学生ボランティア等 との交流事業	外国人市民と学生ボランティア等との 交流事業を実施する。	・未実施	・多文化交流サロンやワークショップの 案内を配付	・多文化交流サロンや母語継承語支援事業、各種 ワークショップについて、大学生や高校生に周知し、 参加を促す。 ・「親子で学ぶ外国語・外国文化ワークショップ」に 学生ボランティアが参加	○ 継続	・多文化交流サロンや母語継承語支援事業、各 種ワークショップについて、大学生や高校生に周 知し、参加を促す。 ・「親子で学ぶ外国語・外国文化ワークショップ」 に学生ボランティアが参加	支援団体、大学 多様性推進・ ジェンダーギャッ プ対策課 観光政策課
気軽に集まれて相談できる居場 所づくり	誰もが気軽に集まれる居場所づくりを 進める。	・支援団体で実施	・多文化交流サロン(生活相談、交流 会等)の実施(委託、月2回開催) 【参加者】10か国延べ421人	・多文化交流サロン(生活相談、交流会等)の実施 (委託、月2回開催) 【参加者】12か国延べ375人	○ 継続	・多文化交流サロン(生活オリエンテーション、交 流会等)の実施(委託、月1回開催)	支援団体、地域

具体的手段03-03 地域、地区住民とつながりができている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
地域の仕組みを知る機会の創出 (地区や子ども会等)	外国人市民が地域の仕組みを知る機 会を持てるように地区に働きかける。	-	・下陰区と地区に住む外国人市民につ いて情報共有の場を持った。(2回)	・地域への働きかけを継続	△ 継続	・地域への働きかけを継続	地域
外国人雇用事業所と地域との交 流事業	外国人従業員が住む地域と事業所が 交流できるよう働きかける。	-	-	・事業所、地域との交流(日高地域で実施、区内運 動会に技能実習生14名が参加)	△ 継続	・事業所、地域への働きかけを検討	企業、地域
地域行事への参加促進	地域行事に外国人市民の参加を促進 する。	・行政区359地区、地域コミュニティ組織 29カ所に対するアンケート実施(2月実 施)	・行政区359地区、地域コミュニティ組 織29カ所に対するアンケート実施(1 月末配付)	・行政区359地区、地域コミュニティ組織29カ所に 対するアンケート実施(1月末配付)	△ 継続	・行政区359地区、地域コミュニティ組織29カ所 に対するアンケート実施(1月末配付予定)	地域
避難訓練等への参加促進(重 複)	地域の防災訓練等に外国人市民の参 加を促進する。	・区、地域コミュニティ組織への参加依頼	・防災ワークショップ等の開催(waccu toyooka等で開催) ・出前講座の実施 ・市民総参加訓練の実施	・区・地域コミュニティに外国人の参加呼びかけをお 願いする。 ・外国人向け出前講座実施時に参加人数を拡大す るよう依頼団体へお願いする。	△ 継続	・区・地域コミュニティに外国人の参加呼びかけ をお願いする。 ・外国人向け出前講座実施時に参加人数を拡大す るよう依頼団体へお願いする。	危機管理課 地域
外国人市民の自主防災組織加 入促進(重複)	外国人市民の自主防災組織への加入 を進める。	・未実施	・未実施	・出前講座において、外国人市民が防災の担い手と なりうることを啓発	× 継続	・出前講座において、外国人市民が防災の担い 手となりうることを啓発	危機管理課 地域

具体的手段03-04 外国人市民が主体的に活動している

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
外国人ボランティアの育成	外国人ボランティアの育成を進める。	-	・日本語教室で外国人市民が日本語学習ボランティアとして活動(2名)	・日本語教室で外国人市民が日本語学習ボランティアとして活動(2人)	△ 継続	・日本語教室で外国人市民が日本語学習ボランティアとして活動	支援団体
外国人市民が大学、地域等で講義する機会の創出	外国人市民が講師等となって、大学や地域等で話をする機会を創出する。	・専門職大学で国際交流員が講義	・多文化共生ワークショップ 「地域で働くこと、子育てすること」 【ゲストスピーカー】外国人市民2人 【参加者】14人	・「親子で学ぶ外国語・外国文化ワークショップ」の講師となって、ベトナム、フィリピンのことを伝えた。 ・日高民生委員・児童委員協議会定例会の研修で外国人市民が講演した。(3/19実施) 【参加者】45人(委員40人・事務局等5人)	○ 継続	・専門職大学に委託する母語継承語支援事業等での開催	大学 観光政策課 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体

具体的手段03-05 多文化共生を推進する人材が育っている

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
通訳者、相談員等人材の発掘と育成(重複)	外国語通訳ボランティアやワンストップ相談窓口の相談員等を確保するため、人材の発掘と育成を行う。	・外国語通訳ボランティアの把握	・外国語通訳ボランティアの把握	・相談窓口拡充のため、新たに多言語相談員を雇用(週3日、タガログ語) ・通訳者・相談員研修(12月15日実施) 【参加者】14人 ・外国語通訳ボランティアの把握(継続)	○ 拡充	・多言語相談員を雇用(週3日、タガログ語) ・外国語通訳ボランティアの把握(継続) ・通訳者・相談員研修 ・事例共有会、相談会(税金、就学前等)の開催	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体
市役所と外国人市民ネットワークとの連携	外国人市民ネットワークを把握し、連携する。	・未実施	・未実施	・教会、技能実習生等のネットワークを把握し、キーパーソンを見つける。	× 継続	・教会、技能実習生等のネットワークを把握し、キーパーソンを見つける。	多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 支援団体

具体的手段03-06 留学生が地域と交流している

事 業	内 容	2021年度実績	2022年度事業実績	2023年度事業実績(3月末現在)	進捗状況 /方向性	2024年度事業計画	推進主体
芸術文化観光専門職大学との連携	留学生が地域と交流できるよう専門職大学と連携する。	・未実施(専門職大学での留学生受入無)	・未実施(専門職大学での留学生受入無)	・9月中旬に留学生来日 ・専門職大学国際交流センターとコミュニティ組織が連携し、交流事業を行う。(高橋地区から地域イベントの情報をいただき、専門職大学と共有したが、休日のイベントのため大学の公用車が使用できないとのことで実施なし)	△ 継続	・専門職大学国際交流センターとコミュニティ組織等が連携し、交流事業を行う。	大学、地域 多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 観光政策課